

平成 29 年 10 月 稲荷山図書館指定管理者連絡調整会議 議事要録

日時	平成 29 年 10 月 27 日（金） 13 時 50 分から 14 時 30 分まで
場所	光が丘図書館 第一会議室
出席者	<p>(1) 光が丘図書館（以下「光」） 管理係長、運営調整係長・係員（2）、事業統括係長、子供事業統括係長 ※光が丘図書館長は欠席</p> <p>(2) 稲荷山図書館指定管理者（株式会社ヴィアックス）（以下「稲」） 稲荷山図書館長、同館業務従事者、本社スタッフ（2）</p>
内容	<p>① 施設管理について</p> <p>（光） 7 月 22 日の、会議室を利用している小学生の話し声に関する苦情について →（稲）当日は、会議室を開放しており扉は開けていた。夏休みに入り小中学生の来館が増えていたが、事務室では感知できず、ご意見箱への投書だったため、具体的な状況も分からなかった。苦情を受けて巡回時等注意していたが、その後、同様の苦情はなかった。</p> <p>② 事業計画について</p> <p>（光） 7 月開催の「大人のための怖いおはなし会」について →（稲）昨年度「大人のおはなし会」を実施したところ、今度は怖い話を聞きたいとの要望があったため開催した。会場には関連資料を展示し、一定数の貸出につながった。来年度も継続して実施していきたい。</p> <p>（光） 8 月開催の「昆虫講演会」について →（稲）地球温暖化などの影響による環境変化や外来種の侵入・拡大についての講演会で、ヒアリの標本も観察した。講師が取り組んでいる蝶の保全活動についても紹介した。</p> <p>（光） 9 月開催の「昆虫写真を撮ろう！」について →（稲）昆虫写真家の方を迎え、昆虫や自然の撮影について座学で知識や技術を学んだ後、稲荷山憩いの森に会場を移し、実際に各自持参したカメラで撮影した。会議室には撮影の参考になるような昆虫資料や写真集を展示し、貸出を促した。講師が著名な方であったため、講師の SNS を見て参加した方が多く、結果として区外参加者の方が多くなった。 →（光）今回の事業は特異な例だろうが、相当遠方からも参加している方がいる。しかし、普段の図書館利用には結びつかず、基本は区民の参加や利用を念頭に事業を考える必要がある。</p> <p>③ 児童サービス事業について</p> <p>（光）夏休みの学校支援の状況は。 →（稲）学校によって、蔵書点検や選書に関する業務がある場合は出勤している。新学期の支援については、学校全体の催し物や図書の時間の支援として、おはなし会やアニメーション等の準備をしている。</p> <p>（光）三原台中学校の貸出し冊数やレファレンス件数が多いが何か理由は。 →（稲）生徒数が多い事や夏休み前の貸出しを一人 5 冊程度行った事が考えられる。</p>

(光) 学校図書館の蔵書管理について

→ (稲) システムが入っていないため、除籍や購入があった場合は、原簿を確認して作業している。また、レファレンス時の検索手段が無いため、すぐに探し出せない場合がある。なお、原簿がない学校は、数年前に作成した蔵書リストを活用している。

(光) 7月開催の「マルシェでおはなし会」について

→ (稲) 地域の方からの紹介で、区立平成つつじ公園で開催された「ねりま de 女子マルシェ」に初めて参加し、大型絵本や紙芝居のおはなし会、手あそびを実施した。図書館で飼育しているカブトムシも持って行ったところ、稲荷山図書館を知らない子供達に良いアピールとなった。また、普段は図書館に行かない方が図書館に行ってみようかなと思うきっかけ作りにもなったのではと思う。

(光) 7月開催の「カブトムシのイラストを描こう！」について

→ (稲) 図書館で飼育しているカブトムシや所蔵資料を参考にして、子供達にイラストを描いてもらった。イラストは後日、館内に展示し、再来館のきっかけ作りとした。イラストを描き終わった子供達には一人1匹カブトムシをプレゼントした。当初、午前のみの実施予定だったが、申し込み多数のため午後の部も設けた。

(光) 7月開催の「ハンドタオルでマスコットを作ろう！」について

→ (稲) 昨年度に引き続き、三原台中学校手芸部の生徒が講師となって、参加した小学生12名と一緒にマスコット作りを行った。支援校との連携や青少年サービスにつながる機会となった。

(光) 7月、8月開催の「中里郷土の森・稲荷山図書館へ行こう！スタンプラリー」について

→ (稲) 平成29年3月にオープンした「練馬区立中里郷土の森」との初めての連携事業。中里郷土の森の方が図書館にチラシを置きに来た時に、自然に関する特色を持つ2施設なので、何か連携して事業ができないかという話をしたことがきっかけで実現した。最初はお互いの施設をまず知ってもらおう、ということでスタンプラリーの実施となり、スタンプを全部集めた方には記念品として缶バッジをプレゼントした。図書館側は、本を借りた時、おはなし会に参加した時にスタンプを押すようにした。

また、中里郷土の森には自然や生き物について学べる「森の学習棟」があり、図書館で飼育しているカブトムシの展示も行った。連携事業としては、10月に「青空おはなし会」や「読書の秋キャンペーン」も実施しており、今後も継続して連携していきたい。

(光) 9月開催の「稲荷山×八坂中おはなし会」について

→ (稲) 通常のおはなし会に、読み手として八坂中学校の生徒2名が参加した。読み手の生徒は、当館に職場体験として受け入れを行った生徒で、お誘いしたところ興味があるということで参加してもらった。おはなし会で読む本は、職場体験の時に図書館スタッフが候補を紹介し、生徒に選んでもらったもの。八坂中の生徒がおはなしをするという事で普段より参加者が多かった。また、校長先生も見学され、今後も続けていきたいというお話をいただいている。